

【要旨】

内政面では、野党勢力による選挙プロセスの不当性を訴えるデモが行われた。対外関係では、選挙プロセスに関するOASとの対話が始まった他、ロシアの支援によるワクチン製造施設が完成した。経済面では、Doing Business 2017 及びジェンダー・ギャップ指数2016 が発表され、世界における当国のビジネス環境や男女格差状況が明らかとなった他、本年上半期のベネズエラからの石油援助データが中銀から発表された。

【主な出来事】

1 野党勢力による選挙プロセスの不当性を訴えるデモ

(1) 9日、マドリス県ソモト市にて野党勢力による今次選挙プロセスの不当性を訴えるデモが行われ、複数の政治グループの指導者達（エレラ元PLI議員、カジェハス元PLI大統領候補、グラネラ元PLI副大統領候補、ビヒルMRS代表、ハッサンPAC代表等）が、近隣県から集まった2300人以上の参加者とともにデモ行進し、今次選挙は与党FSLNによって仕組まれた茶番であると批判し、人々に投票に行かないよう呼びかけた。ファビオ・ガデア氏（当館注：人気ラジオ司会者。2011年選挙においてPLI大統領候補となり30%を超える票を獲得。）は、デモ参加者に電話でメッセージを送り、「生きている限り、私は闘い続ける。表現の自由、集会の自由、そして茶番でしかない選挙ではなく自由かつ透明な選挙を備えた国の枠組みが尊重された形で民主主義が取り戻されるために。」と述べた。ガデア氏の電話メッセージの後、エレラ元議員は、全ての政治勢力の団結を訴える文書を読み上げ、政治指導者達は同文書に署名した。

(2) 上記ソモト市におけるデモの他、マタガルパ県、ヒノテガ県、ヌエバ・セゴビア県、レオン県、カラソ県、マサヤ県、リオ・サン・ファン県、北カリブ自治区、南カリブ自治区でも、より小規模な同種の抗議デモが行われた。

2 選挙プロセスに関するOASとの対話

(1) 15日、ニカラグア政府とOAS事務局は、ニカラグア選挙プロセスに関する対話に係る合意文書に署名し、以下の点につき合意した。

ア OAS事務局代表者3名及びニカラグア政府代表者3名により構成される、建設的対話のための協議会を設立する。右代表者は、口上書をもって任命される。

イ 同協議会は、14日付OAS事務総長発ニカラグア政府宛報告書に含まれる事項に、共同して、建設的な形で取り組む。

ウ 同協議会は、20日にマナグアにて初回の会合を開催し、以後月2回、マナグア若し

くはワシントンにて会合を開催する。

エ ニカラグア政府は、当局及び諸政党との会談の機会を設けるため、12月1日にアルマグロOAS事務総長がニカラグアを訪問するよう招請する。

オ 双方は、ニカラグア政府が受諾するOASシステムの諸規範及び国内法に従い、ニカラグアの民主的機構の強化を支援すると約束する。

カ ニカラグア政府及びOAS事務局は、3ヶ月以内に共同報告書を提出する。報告書の提出に係る合意が成立しない場合、双方が独自の報告書を提出する。

(2) 19日、米務省はプレスリリースを発出し、ニカラグア政府とOAS事務局との対話を歓迎する旨表明するとともに、ニカラグア政府に対し、選挙プロセスに関してOASとオープンで広く包摂的な議論を行うこと、及び自由、公正かつ透明な選挙のためのより開かれた環境を醸成することを求めた。

(3) 25日、ニカラグア政府はプレスリリースを発出し、選挙プロセスに招待されている専門家及び機関と会合し11月6日の選挙に係る印象を知ってもらうため、OAS事務局代表団を11月5～7日に当地に招請する旨発表した。

(4) 27日、ニカラグア政府は回章を発出し、アルマグロ事務総長の12月1日当地訪問に関し、OAS事務局のコンファームを得た旨発表した。

### 3 ロシアの支援によるワクチン製造施設の完成

22日、ロシアの支援により当地で建設が進められていたワクチン製造施設「MECHNIKOV」が完成し、スクヴォルツォフ露保健大臣及びエティエンヌ汎米保健機構（PAHO）代表が出席した他、ニカラグア側から、ラウレアノ・オルテガ・ニカラグア投資振興機構（ProNicaragua）顧問、ロベス社会保険庁（INSS）長官等が出席した。スクヴォルツォフ露保健大臣及びエティエンヌPAHO代表は、同日夜、オルテガ大統領と懇談した。

### 4 当国のビジネス環境（Doing Business 2017）

25日に発表された Doing Business 2017 によると、本年評価された190カ国・地域中ニカラグアは127位となった（コスタリカ62位、パナマ70位、グアテマラ88位、エルサルバドル95位、ホンジュラス105位）。ニカラグアは引き続き、「納税」、「建設許可取得」、「資産登録」、「投資家保護」において遅れを見せている。また、「会社設立」においても190カ国中128位と、問題が認められる。ニカラグアでは右手続きに要する日数は13日、手続きの数は6、コストは国民一人あたりGNIの68%となる。「国境を越えた貿易」については、ニカラグアでは輸出時の手続きに48時間、国境通過に60時間要するのに対し、コスタリカでは手続きに24時間、国境通過に20時間要する。他方、輸入の場合は当国では手続きに16時間、国境通過に72時間、コスタリカでは手続きに26時間、国境通過に80時間要する。

## 5 ベネズエラからの石油援助の減少

14日の中銀の発表によると、本年上半期のベネズエラからの石油援助は客年同期比37.26%落ち込み、客年上半期の石油援助が172.8百万ドルであった一方、本年は108.4百万ドルとなった。石油援助の減少は2012年から始まったが、落ち込みが際立ったのは2015年で、年間の援助額は前年比37.12%減少した（2014年援助額：435.6百万ドル、2015年：300.5百万ドル）。上半期だけの石油援助実績を見直すと、本年の落ち込みは過去最も大きく、2013年上半期の前年同期比減少率は1.67%、2014年は17.37%、2015年は26.90%であった。中銀によると、本年上半期、ベネズエラからは108.4百万ドルの石油援助(PDVSAによる融資)の他に63.7百万ドルの海外直接投資があった。直接投資のうち37.7百万ドルは石油精製所、残る26.1百万ドルは発電プロジェクトに充てられた。

## 6 当国の男女格差(ジェンダー・ギャップ指数2016)

世界経済フォーラムは男女格差報告書2016を発表し、ニカラグアが最も男女平等が進んでいる10カ国に入ったことを明らかにした(144カ国中)。ニカラグアはラ米・カリブにおいて最も好成績となり、世界ランキングでは客年の12位から10位に上昇した。また、同報告書ではニカラグアは男女平等のテーマにおいて最も早く前進している国の一つであると示されている。同報告書は、「政治参加」、「健康と生存率」、「教育」、「経済活動への参加と機会」の4つの分野で男女格差を測っており、ニカラグアは「健康と生存率」及び「教育」では、男女格差は全くない。また、政治参加については、女性の同分野進出が毎年進み、本年は世界第4位となっている。ランキング上位は、アイスランド、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン、ルワンダ、アイルランド、フィリピン、スロベニア、ニュージーランド、ニカラグアとなっている。

### <主要経済指標>

	2016年			2015年	2014年
	10月	9月	8月		
インフレ率(前年同月比)	3.40%	3.52	3.8%	3.03%	6.7%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△266.7	△250.7	△3,012.5	△2,820.3
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	167.8	203.2	2,421.7	2,632.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	434.5	453.1	5,434.2	5,452.9
海外送金(百万ドル)	未発表	106.3	107.9	1,193.4	1,135.8
外貨準備高(百万ドル)	2,401.1	2,489.3	2,481.5	2,492.3	2,276.2

(出典：ニカラグア中央銀行)